

ファーム肥田タイムズ

2018, 4. 1

第2号

ファーム肥田運営委員会

特集

安心・安全の農産物

安心・安全の農業をめざして!!

新トラクター導入

環境にだわり農産物を今後生産・販売するには、

密苗

国際水準 GAP に取り組む必要がある。

小麦の生育状況

①食品安全②環境保全③労働安全④人権保護
⑤農場経営管理の5項目を含む事が必須です。

密苗(高密度苗)

今年から新たな取り組みとしてコシヒカリの密苗移植に挑戦。育苗や運搬にかかるコストの低減が目的で、育苗期間も

14日程で5~8枚/10aでの植付け可能とのことです。



従来苗

密苗

最新ニュース

* 農作業予定

4月2日~育苗

従前の自己点検に頼る取り組み以上の方向性を打ち出すことが必定で、地球温暖化防止や生物

4月上旬~畔塗

性保全に効果が高い営農活動を実践すること

4月中旬~かじり

が求められている。

代かき

新トラクター導入

4月15日~揚水

3月15日に湿田対策用としてデルタクローラ仕様のトラクターを導入しました。

4月25日~植付

* 研修会「適正作業で収益増進」

4月15日(日) 19:30~肥田公民館

講師 (農) アグリ安食西 田中良典 氏

多数の皆様の参加を!

小麦の生育状況

11月に播種後低温・積雪等で株数も少なく葉色の緑化

も遅れていたが、2月下旬に穂肥を施用していただいた結果、幾分持ち直したようである。

